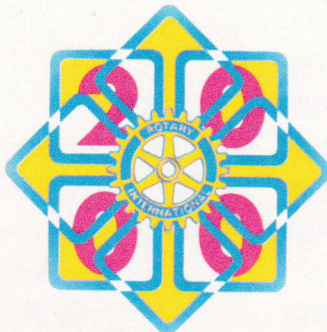




THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

# 佐土原ロータリークラブ週報

ROTARY 2000:  
ACT WITH  
CONSISTENCY  
CREDIBILITY  
CONTINUITY



ロータリー2000:

活動は—堅実、  
信望、持続

1999~2000年度 国際ロータリーのテーマ

第620回 平成11年12月 8日(水)

### 〔本日のプログラム〕

- |             |   |
|-------------|---|
| 1. 点        | 鐘 |
| 2. ロータリーソング |   |
| 「我等の生業」     |   |
| 3. 食        | 事 |
| 4. 会長の時     | 間 |
| 5. 幹事報      | 告 |
| 6. 委員会報     | 告 |
| 7. 点        | 鐘 |

### 次回予告

★12月15日(水)

会員卓話

垂水敏雄君

★12月22日(水)

親睦プログラム

### 佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週金曜日(12:30~13:30)	会長	福井 輝文
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	梶田與之助
事務局	宮崎郡佐土原町大字下那珂3887-17	幹事	恒吉 正志
	☎880-0212	会計	林 厚雄
	TEL及びFAX 0985-73-7170	会報委員	池田 仁志

# 第 6 1 9 回例会記録

(1999. 12. 1)

## ☆会長の時間

会長 福井 輝文君

皆様 今日  
本日は第619回の例会です。  
始めに、ビジターの紹介を致します。  
高鍋RCの河原好秋君です。  
ようこそ、お出でいただきまして、有り  
難うございます。

今年も風邪の流行の時期がきました。  
大流行の兆しで、ワクチンが足りないの  
ではないかとのことです。

風邪ぐらい、と馬鹿にしてはいけません、  
“風邪は万病の元”と昔から言われ  
ております。どうぞ、皆さんも充分注意  
して、この冬を乗り切りましょう。

それから、地区GSE委員長から下記  
の報告がきております。

『1999~2000 年度GSEチームメンバー』  
について

4名の募集に対して11名の応募があ  
り、厳正な選考の結果、下記の4名が決  
定しました。

記

1. 氏名 七枝 敏洋 推薦 鹿児島西RC  
年齢 38歳 男性 勤務先 ソニー生命保険(株)  
住所 鹿児島市 西陵 3-37-8
2. 氏名 瀬戸 房子 推薦 鹿児島RC  
年齢 39歳 女性 勤務先 鹿大 教育学部  
住所 鹿児島市 明和 3-20-1-32
3. 氏名 小野田貴哉 推薦 宮崎北RC

年齢 28歳 男性 勤務先 宮崎市役所納税管理課  
住所 宮崎市学園木花台南 3-13-2

4. 氏名 吉田 直弘 推薦 宮崎南RC  
年齢 33歳 男性 勤務先 (株)宮崎銀行  
住所 宮崎市松橋 2-7-35

## ☆幹事報告

幹事代理 吉田 康一郎 君

### 1. 例会休会及び変更通知

①12月6日(月)の例会は、「忘年夜  
間例会」のため、

時間 18:30 ~  
場所 すし源 〓に変更

日向 RC

②12月14日(火)の例会は「夜間クラ  
ブ総会」のため、

時間 18:30 ~に変更

日向東 RC

③12月28日(火)と平成12年1月4日  
(火)の例会は「特別休会」

日向東 RC

④12月29日(水)と平成12年1月5日  
(水)の例会は「特別休会」

日向中央RC

⑤12月28日(火)は「年末特別休会」  
西都 RC

⑥平成12年1月3日(月)の例会は  
「特別休会」

日向 RC

⑦12月16日(木)は「年末家族例会」  
のため、場所 都城サピアに変更

12月23日(木)は「天皇誕生日」の  
ため 12月30日(木)共に休会

都城中央RC

## 12月のセレモニー

### ☆出席報告

委員長代理 田村 勝二 君

会 員 数	26名
例 会 出 席 者	20名
出 席 率	77%
マークアップ者数	3名
修正出席率	88%
欠 席 者 名	鮎. 林(卓). 鮎.

### ☆社会奉仕委員会

委員長 徳丸 彰一 君

以前より会長の時間での願いがあったようですが、

本年度社会奉仕賞のリストアップをお願い致します。

年明けには表彰式を行いたいと思いますので、この人こそは！と思われる方が居られましたら、是非推薦をして下さい。

### ☆親睦委員会

委員長 吉田 康一郎 君

先日(11月26日)国際ゴルフクラブ於て、第41回歯車会ゴルフコンペを開催しました。

我が佐土原RCの岩下廣美君が優勝、第2位に西都RCの尾崎会員、第3位に高鍋RCの柴垣会員が入賞され、仲良く3クラブが賞を分かち合い、担当クラブの親睦委員長としては、ホッとしたところです。

参加されました、会員のかたに改めてお礼を申し上げます。

#### 1. 本人誕生祝い

林 卓美 君  
柳田 光寛 君

#### 2. 夫人誕生祝い

池田 良子さん 林 初子さん  
郡司小百合さん 福井八重子さん  
神宮寺友子さん 宮本 洋子さん  
垂水 節子さん 吉田 洋子さん

#### 3. 結婚祝い

田村 勝二 } ご夫妻  
清子 }  
垂水 敏雄 }  
節子 } ご夫妻  
藤堂 孝一 }  
真由美 } ご夫妻

皆様 本当におめでとうございます。

### ☆ゲスト卓話

高鍋RC 河原 好秋 君

ご指名がありましたので、西都クラブと共に佐土原クラブの皆様には大変お世話になっています。この席をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

ロータリアンとして唯一自負できることは、入会以来19年間無欠席ぐらいです。

高鍋クラブは現在、会員数45名ですが例会出席率が83~87%とやや低いのが気がかりです。

今後とも宜しく、ご交誼賜りますようお願い致します。

## ☆会員卓話

浜田 松太郎 君

鹿屋での地区大会、皆様に大変お世話になり、有り難うございました。

親睦会では、年齢が若返ったみたいで楽しく、私の思い出になることと思います。

鹿屋基地での見学も大変印象に残り、感慨深いものでした。

若い優秀な人材を沢山失ったことを思い、戦争の愚かさや人の命の尊さをつくづく感じました。

その方々の犠牲の上に今日の日本が築かれていることに思いを馳せ、感激と感涙を押さえることが出来ませんでした。

本日の卓話は、お手元に配付しました元駐タイ大使 岡崎 久彦氏の著、

『高校大学一貫制で』が目にとまり、とても共感しましたので、これを元にお話を進めていきたいと思えます。

我が国の教育はこのままで行くと、日本のインテリは、知的水準でも、独創性でも中国インテリに負けてしまう…

日本人の学生は中国人の学生に較べて学力だけでなく、人間としての魅力や独創性で見劣りがするという。

勿論、中国人は日本の十倍の人口の中から選ばれるのだから、それだけ資質の良い人が多いのは仕方がないかもしれない。しかし、現在の中国人の知的意欲はすさまじいものがあるという。

日本との違いは、中国の教育は、文革時代を全否定しているが、日本では、敗戦、占領、日教組教育の残滓（残りかす）

が整理されず尻尾を引きずっているところにあると言える。

現在まだ、日本のインテリが中、露に優る知的水準を持っているのは、長い空白時代のあった中露に較べて、過去の蓄積があるからであるが、その利点もだんだん薄れて行くであろう。

それではどうしたら良いのであろう。

もう一度戦後教育が始まる前、幕末明治以来一世紀間、日本人がどうやって近代教育を自分の手で育てて来たかに溯って考えて見たい。

戦前の日本のエリート教育と言えば、旧制高校制度である。その制度上の最大の特徴は帝国大学進学がほぼ保証されていた事である。

旧制高校にさえ入れば、どこかの帝大へは行けた。

明治、大正時代、若者の夢は旧制高校に入る事だった。

16歳～17歳で高校に入った途端に人生の将来が約束され社会のエリートの一員となるのである。

1年や2年、ドイツ哲学に熱中しても、シェークスピアの史劇の読破に専念しても、剣道に打ち込んでも良い。

つまり、現在の制度では受験のため、暗記、ツメ込み、ガリ勉に費やさねばならない青春の2、3年間を、教養を深め人生を考え、自分の人間を形成するために、回り道する事が許されるのである。

中には、過剰期待の圧力で挫折する人もあろう。それでも9割はすぐれた良き社会人になろう。残り1割の中から、真にオリジナルな珠玉の人々が生まれる。この様な人々が出て来れば、日本は21世紀を生き延びられる。……(あとどうも、謝辞をお読み下さい)